

PTA活動のためのハンドブック [概要版]

PTAとは？

PTAは、保護者と教職員で自主的に構成され、両者が対等の立場で活動する団体です。PTAとは、英語の頭文字をとったものです。

Parent (親)

Teacher (教師)

Association (組織)

* 日本では「父母と先生の会」と訳していますが、
今日では英語の略語「PTA」が一般的になっています。



PTAの目的

PTAの目的は、子どもの健やかな成長を図ることにあります。昭和42年の国の方針審議会報告『父母と先生の会(PTA)のあり方について』では、PTAの目的を「児童生徒の健全な成長をはかることを目的とし、親と教師とが協力して、学校および家庭における教育に関し、理解を深め、その教育の振興につとめ、さらに、児童生徒の校外における生活の指導、地域における教育環境の改善、充実をはかるため会員相互の学習その他必要な活動を行う団体である。」と述べています。

PTAは自主団体

PTAは、会の趣旨に賛同する保護者と教職員によって構成されます。それが対等の立場で関わり、自主的な組織によって運営される任意の団体です。PTAに加入するかどうかは、個人の考え方や意思によりますので、一人ひとりの意思を確認することが大切です。

PTAは学習団体

PTAは、保護者と教職員が対等の立場で意見を交換したり、家庭や地域の問題点について学んだりする、学習の場です。現在の社会は多様化・複雑化しており、保護者には変化が激しい社会を生きていく若者を取り巻く環境や価値観の変化に敏感であることが求められるから、これからも時代に即した学習活動を行うことが期待されます。



PTAの組織にはどんなものがありますか？

地域の実情や学校の規模に合わせて、活動しやすい組織を作りましょう。
代表的な例を紹介します。

● 組組織(例)

総 会	・ 全会員をもって構成される最高の議決機関です。
運 営 委 員 会	・ PTAを維持、発展させるための執行機関です。 ・ 各委員会の計画や事業全般についての連絡調整を行います。 ・ 総会に提出する議案を作成します。
本 部 役 員 会	・ PTA事業全般に関わる計画・立案を行います。 ・ 学校や地域の団体との連絡調整を行います。
常 置 委 員 会	・ 家庭教育学級、講演会、研修会等の企画・運営を行います。
	・ 「PTA広報紙」やホームページを作成します。 ・ 地域や関係機関への広報を行います。
	・ 子どもたちの安全を守る活動や社会環境を健全化する活動を行います。 ・ 地区懇談会の企画・運営を行います。
	・ 学年・学級PTA行事の企画・運営を行います。 ・ 学習会の企画・運営を行います。
特 別 委 員 会	・ 記念行事特別委員会や役員指名委員会など特定の目的に沿って設置します。
監 査 委 員 会	・ 会員を代表し、会計事務や予算執行が適正に処理されているかを監査します。

● 年間スケジュール(例)

時 期	主 な 活 動
年度始め	● PTA総会準備 ● PTA総会 ● 第1回 PTA運営委員会・各委員会年間活動の確認
常 時	● 運営委員会・各委員会活動 ※ 時期に応じて ・学校行事 ・学校公開 ・懇談会の協力 ・研修会 ・講演会の開催＆参加 ・保護者 ・地域の連携 ・協働活動 …パトロール、清掃活動 等
年 度 末	● 指名委員会による役員選出 ● 活動の整理・記録・次年度の活動計画 ● 会計監査 ● 新旧引継ぎ

PTAの活動にはどんなものがありますか？

PTAの活動は実情に応じて、様々な活動が考えられます。

ここでは、代表的な活動を紹介します。

広報活動

保護者や教職員が互いにPTAとその活動を理解し合い、つながりを深めるために、必要な情報を提供しましょう。活動内容や成果、PTAの良さを伝えることで、「次は参加しよう」という意識の向上につながります。また、広報をとおして、家庭・学校・地域をつなぐこともできます。



【広報活動の方法】

- (1) 年に数回発行する広報紙及び号外等
- (2) 学年委員会・校外指導委員会・運営委員会等からのホームページによるお知らせ・おたより・一斉メールなど
- (3) 学校のホームページに広報紙を掲載
- (4) PTA独自でホームページを運営 など

学校での
子どもの様子が分かります
(活動メリット1より)

子どもの安全確保

PTAとしても、子どもたちの安全確保のための活動は大切です。通学路など、学校外の危険箇所の点検を行うと共に、危険箇所(安全)マップを作成したり、登下校時の見守りや校内や校外のパトロールを実施しているところもあります。



地域との連携

保護者同士、地域とのつながりが
できます (活動メリット3,5より)

子どもたちの健全育成のためには、家庭・地域・学校がそれぞれの役割を踏まえた上で地域ぐるみで取り組む必要があります。そして、学校と最も密接な協力関係にあるPTAには、家庭・地域・学校を結ぶ架け橋としての役割が期待されています。PTAが窓口になることにより、隣接したこども園・幼稚園・保育所の保護者会や小・中・高等学校等のPTAとの連携なども可能になります。

地域学校協働ボランティアハンドブック

つなごう！つながろう！
地域と学校



神奈川県教育委員会

《令和7年3月に「地域学校協働ボランティアハンドブック」を改訂しました》

地域ボランティア向け、学校向け、地域学校協働活動推進員やコーディネーター向け、そして、県内の事例紹介の4部構成になっています。PTAの活動に向けた心得や役割のヒントにもなる内容です。ぜひ活動等でご活用ください。

なお、神奈川県教育委員会生涯学習課のホームページから
ダウンロードできます。



◆ <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/gt2/tiikikyoudouvhb.html>

PTA活動のためのハンドブック 23～42ページ 参照

PTAの活動に参加してみよう！

7つの
メリット

PTA活動のためのハンドブック 5~6ページ 参照

1 学校での子どもの様子がよく分かるようになります

- ・家庭とは違った学校生活の様子を知ることができます。
- ・家庭での子どもとの会話が増えるきっかけになります。



2 自分の子どもだけではなく、他の子どもたちとも交流することができます

- ・他の子どもと顔なじみになり、他の子どものよさが見えると共に自分の子どものよさも見えるようになります。

3 保護者同士のつながりができます

- ・子育てについて共に話し合い、相談しやすくなります。



4 教職員との会話の機会が増えます

- ・学校の様子や雰囲気について先生から話を聞く機会が増えます。
- ・学校生活における心配事や悩み事等を相談しやすくなります。

5 地域とのつながりができます

- ・子育てについて地域の方に相談しやすくなります。

6 学習会や研修会などをとおして、新しい自分を発見できます

- ・新たな知識を身につけることができます。
- ・大人としてもう一度、学習・成長する機会を得ることができます。

7 ずっと付き合える仲間ができます

- ・PTA活動が終わっても、友人として付き合える仲間ができることで、長い人生を豊かに過ごせます。

詳しくは「PTA活動のためのハンドブック」をご覧ください。

神奈川県教育委員会生涯学習課のホームページから
ダウンロードできます。



かながわ PTA ハンドブック

検索

二次元コードはこちら